

きく組

— 2学期の目標 —

- ◎ 友だちと一緒に共通の目的に向かって、意見を出し合いながら取り組み、やり遂げる達成感を味わう
- ◎ 自分の思いを伝え、相手の考えも聞き、友だちと一緒に遊びを進めていく

— 活動内容 —

できたよ～♪

(健康な心と体、自立心、道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり豊かな感性と表現、言葉による伝えあい)

- ・ 1学期より、縄跳びと鉄棒に取り組み。又、運動あそびを通して取り組み中で、少しずつ跳べるようになってきた子どもも増えてきた。
- ・ 鉄棒では、それぞれ本番に取り組みたいものを決め、それに向けて練習をしていく。できる技やできない技に挑戦しようとする姿がみられた。
- ・ 縄跳びでは、走り跳び・前跳び・それぞれ好きな技に挑戦する。練習を重ねるに連れ、自由遊びの中で挑戦する姿が増えてきた。その中で、やさしい言葉や自分のほうができると相手を傷つける言葉が聞かれ、クラスの中で言葉についての話し合いの時間を設けた。
- ・ 運動会では、一人ひとりが自信に満ち溢れ頑張っていた。
- ・ 運動会の絵を描いたが、思いおもいに楽しかったところを描いていた。
- ・ 運動会を終え、自由遊びの中では、鉄棒や縄跳びにふれる子どもが増え、友だちの取り組んだ技に挑戦したり、教え合う姿があった。
- ・ 11月の終わりに縄跳び大会を実施した。友だちを応援する姿や認め合う言葉のやりとりがたくさん聞こえてきた。3学期、2回目の縄跳び大会を実施予定で楽しみにする姿がみられる。



あっちゃんあがつくあいうえお

(協同性、思考力の芽生え、社会生活との関わり、言葉による伝え合い、思考力の芽生え、数量・図形、文字等への関心・感覚、豊かな感性と表現)

- ・ 遊びの中で、しりとりやマジカルバナナなど言葉のやり取りを楽しんでいる。
- ・ 繰り返し読み聞かせをしている1冊に『あっちゃんあがつくあいうえお』の絵本があり、その絵本から自分たちで考えて言葉を作ってみることにし、クリスマス祝会で発表することにした。なかには、選んだ物を連想するのが難しかった子どももいたが、言葉を連想し、楽しみながら、考えていた。
- ・ 考えた言葉の絵を描く。友だちにどのような言葉にしたのか尋ねたり、絵を見て、連想を楽しむ子供もいた。
- ・ クリスマス祝会では、緊張の中にあっちゃんあがつくあいうえおの発表があった。一人ずつ大きな声で発表することができた。
- ・ 一定のリズムであるからか、日常の中でさまざまなものの名前など使って考えて遊ぶ姿がみられるようになった。



— 2学期の反省 —

- ・ 運動会を通して子ども達一人ひとりが自信を持って取り組めたのが、自由遊びの中など日常の様子からよく伝わってきた。運動会后、挑戦する姿がたくさんあり、他の学年の子ども達も年長児に憧れを持ち、挑戦する姿もみられた。その中で、お互いを褒めたり、認め合う言葉や挑戦し合う姿も見られ自信へと繋がったように思えた。その反面、友だちとの関わりの中で、トラブルになる場合があり、自分たちで解決することも増えてきたが、その都度状況を確認し合ったり、どうしたらよいか考える時間を設けた。
- ・ 今より、もっとできるようになりたい思いや、目標を決め、努力する姿も見られ、心の成長を感じた。
- ・ 一斉での活動を通して、その中で話し合いをしたり、遊びに繋がる姿がたくさん見られ、自分の思いを言葉で伝えようとする姿がたくさん見られた。

— 3学期の目標 —

- ◎ 就学に期待を持ちながら、話しを聞く態度を養い、動と静のメリハリをつけて過ごす
- ◎ いろいろな行事や活動の中で自分の成長を感じたり、周囲の人への感謝の気持ちを持つ。

